



こしがや



越谷市民憲章

わたくしたちは、越谷市民であることに誇りと責任を持ち、水と緑と太陽に恵まれた豊かなまちを築くため、限りない願いをこめて、ここに市民憲章を定めます。

- 1. 教養を豊かにし、人間性あふれる文化のまちをつくりまします。
- 1. きまりを守り、信じあい、心豊かな明るいまちをつくりまします。
- 1. 自然を愛し、お互いに助けあい、きれいなまちをつくりまします。
- 1. 健康で楽しく働き、明るいスポーツのまちをつくりまします。

発行/越谷市 343埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 ☎0489(64)2111 FAX 0489(65)6433 編集/企画部広報広聴課



▲「また、あしたね」迎えにきたお父さん、お母さんにだっこされ、保育さんに「さよなら」をする子どもたち（越谷市保育ステーションにて）

今号の主な内容

- 福祉の新しい事業がスタート ②③
- 一人ひとりのマナーでまちを美しく ①
- 市税条例等の一部が改正されました ⑤
- 催しご案内、施設ガイド、ふれあいラウンジ タウン情報(お知らせバック〜この指とまれ〜) ⑥⑦
- 公民館コーナー、コミ協ふれあいだより、行ってみたいなとなりまち ⑧
- こどもコーナー ⑨
- 健康と暮らし ⑩⑪
- まちのわだい、ズームアップ、市政トピックス ⑫

4月14日にオープンした越谷市保育ステーション。新越谷駅前のビル5階に設けられたこのステーションでは、駅を利用し通勤する保護者から子どもを預かり保育園へ送迎するとともに、昼間は一時保育などを行っています。

朝夕は送りのバスやお父さん、お母さんの迎えを待つ子どもたちが、また、昼間は一時保育の子どもたちが、絵本を見たり、積み木や楽器を使い、元気に楽しく遊んでいます。

駅前の保育ステーションは今年度から始まった事業の一つ。今号では、この保育ステーションとともに、新たにスタートした福祉の事業を紹介します（2・3面に特集記事）

子育て支援の新事業 越谷市保育ステーション

1 The Story One-Tree hundred thousandth

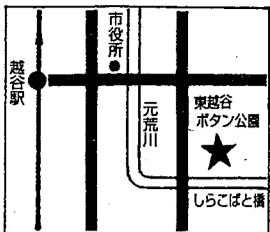
30万の物語

人口30万都市の鼓動
それは1人ひとりが織り成すドラマです。

ズームアップ

21世紀に向けたまちづくり

ポンプ場わきに ボタン公園を整備



東越谷第一ポンプ場わきの空閑地が、ボタンの花が咲く公園として整備されました。ここは昭和43年から地域し尿処理施設として、東越谷一丁目～五丁目、花田一丁目、宮前一丁目の生活排水を処理してきたところですが、公共下水道への切り替えにより平成2年度末でその役目を完了しました。今回、この処理施設の跡地3300平方メートルを整備したものです。



東越谷ボタン公園

公園には16種類、144株のボタンが植えられ、滑り台やブランコなどの遊具施設のほか、水飲み場やベンチなども設置され、市街地の中の市民の安らぎと憩いの場となっています。

市政トピックス

●新採用職員が民間企業の売り場研修●

4月8日から11日まで、市の9年度新採用職員が市内のスーパーマーケットで売り場の体験研修を行いました。これは、接客や販売業務を体験することによって市民の方に対するサービスの重要性を理解しようと実施されているもので、今年で10回目になります。



最初は戸惑いの表情を見せていた職員たちも、店員からののていねいな指導を受けながら、開店時のあいさつや接客、商品の整理などに真剣に取り組んでいました。

●都市計画道路鳩ヶ谷別府線、南越谷駅越谷駅線の使用が4月から開始されました

鳩ヶ谷別府線の県道足立越谷線から鉄道までの延長約290メートルの工事が完了、また、鉄道西側の茜通りまでの約200メートルの改修も完了し、道路の使用が開始されました。植樹帯の一部は南越谷地区コミュニティ推進協議会の協力を得て住民参加の緑化を進めています。

南越谷駅越谷駅線は全延長1320メートルのうち920メートルの工事が終了し、部分開通となりました。この道路は、東武鉄道の環境側道としての機能を併せもち、並行して走る県道足立越谷線の交通渋滞の緩和を図ります。

●蒲生公民館の起工式●

4月25日、新しく登戸町地内に建設される蒲生公民館の建設工事起工式が行われました。新しい蒲生公民館は、従来の公民館機能の中心である生涯学習に加え、地域コミュニティ、地域福祉、防災救援機能の4つの機能を担う地域の拠点施設として建設されるもので、延床面積は2,001.52平方メートル。従来の公民館の平均延床面積約450平方メートルの4倍ほどの大きさになります。平成10年3月に完成予定です。

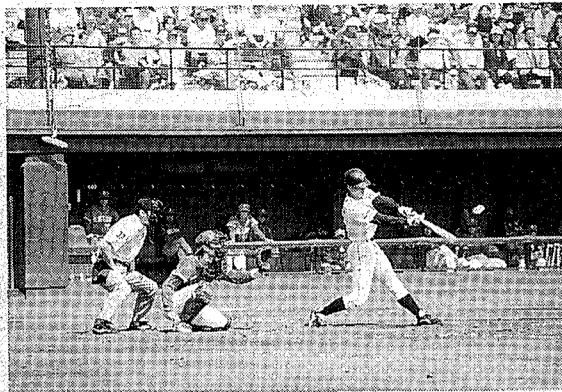
まちのわだい

タウンビート

TOWN BEAT

人口30万都市の鼓動
それは一人ひとりが
織り成すドラマです

「巨人対西武」に1万人 観衆が詰めかけた



4月13日、越谷市民球場でプロ野球イースタンリーグの公式戦「巨人対西武」が行われました。平成6年の市民球場オープンから4年連続の開催となった今回は、観戦を待ちかねたファン約1万人が詰めかけ、迫力あるプレーに盛んな拍手を送っていました。

試合に先立ち、子どもたちを対象に野球教室が開かれ、約150人がプロの指導を受けました。試合は、一回に巨人が3点を先制しましたが、西武が3回4回に1点ずつ、7回に2点を挙げて逆転、4対3で西武が勝ちました。

「越谷の四季展」を開催



4月14日(土)20日、中央市民会館で「第10回越谷の四季展」が開催されました。これは、南部の3つの公民館(蒲生・南越谷・川柳)の所属の絵画クラブが日ごろの活動の成果を発表しようとして開催したものです。3クラブの代表者により構成された「越谷の四季展実行委員会」(田辺正年実行委員長)と3つの公民館との共催。越谷市が後援。会場には、3つの絵画クラブの会員28人の作品59点(油絵32点、水彩27点)が展示され、訪れた人はふるさと越谷を描いた作品などに感心しながら見入っていました。

市民能楽養成事業



4月19日、日本文化伝承の館こしがや能楽堂で「第6回市民能楽養成事業成果発表会」が開かれました。市民能楽養成事業は、「こしがや」を養成し、世界に誇る日本の伝統芸能「能楽」を市民レベルで伝承しようというものです。発表会には謡曲・仕舞養成コース39人、能楽・能楽養成コース(大鼓方)14人の合計89人が出演し、日ごろの稽古(けいこ)の成果を発揮していました。

わがまち この人



4月2日～5日に行われた「彩の国づくり県東部地域マリンセミナー」に地域リーダーとして参加した飯島孝子さん(瓦曾根三丁目)

参加となった。「はじめ3泊4日は長いと思い、参加するのを少し迷いましたが、そんなに長く家族と離れて生活したことはなかったですからね。でも、多くの人たちと出会い、交流したこのセミナーは感動の連続で、あつという間の4日間でした」



団長と語る研修生

飯島さんは「越谷市子ども会育成連絡協議会」の副会長ということで今回の研修に参加した。参加したのは小中学生362人と地域リーダー77人。



最終日に行われた全体発表会

「子ども会の活動は家族の理解がないと続けられませんが、今回のセミナーにも気持ちよく送り出してくれた家族に感謝しています。またこのようなお話があったらぜひ参加したいですね。これは参加者の皆さん全員が持っているんですよ」

テレビ埼玉 越谷 広報番組

4月にオープンした越谷市保育ステーションや、浴槽付介護ベッドの貸し出し事業など、新たにスタートした福祉の事業を、5市1町の重症心身障害児施設「中川の郷」の様子とともに紹介する予定です。

放送日
5月18日(日)
午前9時30分～50分
再放送
5月19日(月)
午前11時00分～20分

問合せ
広報広聴課広報係